

# ♪ わが家のアイドル ♪



平町  
矢野 佑樹ちゃん（6歳）  
葵ちゃん（10カ月）  
お兄ちゃんと仲よし♪  
いつも笑顔ありがとうございます♡



谷川町  
米澤 翼ちゃん（3歳8カ月）  
電車が大好きです。



錦織南  
端山 莉緒ちゃん（9カ月）  
いつも笑顔で家族を癒してくれてます。

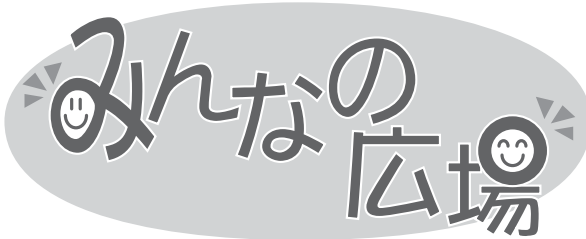
## 宛先

5 8 4 - 8 5 1 1

住所・氏名・ふりがな・電話番号

常盤町1番1号

富田林市役所  
情報公開課広報係



わが家のアイドル（対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可）は、写真に、**メッセージ（20字程度）**を添え、住所、保護者とお子さんの名前（ふりがな）、撮影時の年齢（月齢）、電話番号を記入し、Eメール [kouhou@city.tondabayashi.lg.jp] または、封書で左記の宛先まで応募してください（Eメールの場合は件名に「わが家のアイドル」と入力してください）。  
なお、今応募された場合、掲載は約2カ月後になります。

## 100歳 おめでとうございます！



6月12日、100歳の誕生日を迎えられた伊奈 ます子さんを訪問しました。週に一度のカラオケ通いを欠かさず続けられているそうです。

## 川柳

富柳会 池 森子選  
今月の宿題「安心」

秀句 〓  
安心も不安もあつて花曇り  
津々山台 前田 トシ子  
△選評V花曇りとはさくらが咲く頃、空が薄く雲っているという季節の事であるらしい。生きていく限りは安心ばかりではない事を花曇りとしての一句で読んでいるところがとても楽しい。

一日一笑安心という風掴む  
小金台 岡野 安希子

頑丈で家族寄り添う父の傘  
錦ヶ丘町 松島 清美

電話口母の愚痴聞き安堵する  
西板持町 奥野 芳三

蟠り消えて明日へ続く道  
不動ヶ丘町 景山 睦子

安心はだんだん太くなる絆  
須賀 林 澄子

ふる里によく似た町で五十年  
梅の里 原 洋子

心配と安心五分五分の絆  
梅の里 原 洋子

選者 吟

※8月号は「短歌」を掲載します（なお、応募は6月30日で締め切りしました）。

川柳・短歌・俳句は、それぞれ別のがきで応募してください（1人各5点まで）。市内在住の人で未発表のものに限ります。作品の漢字や氏名には必ずフリガナをつけてください。  
9月号の「俳句」は7月31日（火）、10月号の「川柳」（宿題「絆」）は8月31日（金）、11月号の「短歌」は9月30日（日）までに応募（いずれも必着）してください。  
宛先は上記をご覧ください。

# MEET★とんだばやし

～認知症になっても笑顔で暮らせる富田林～

本市では、「認知症になっても笑顔で暮らせる富田林」をめざして「MEET★とんだばやし」をキャッチフレーズに、さまざまな取り組みを進めています。

今回は、もの忘れや認知症に関するさまざまな相談先を紹介します。



## ●もの忘れ医療介護相談

「最近もの忘れが気になる」「家族の様子で気になることがある」「病院に行くのはためらいがある」など、もの忘れや認知症について不安に感じている人やその家族が気軽に相談できるように、富田林医師会と協働し、本市の認知症サポート医とほんわかセンター（地域包括支援センター）の専門職による相談窓口を開設しています。またケアマネジャーなどの支援者が同席し、介護や支援方針などを相談することもできます。

相談には事前予約が必要です。開設日などは、24ページの「今月の相談」をご覧ください。

## ●もの忘れ相談・もの忘れ健診

かがりの郷、けあばる金剛に設置している「もの忘れ相談プログラムタッチパネル」では、タッチパネルパソコンからの質問に対して答えを選んでいくことで、もの忘れの健診ができます。健診後は、ほんわかセンターの看護職などから結果の説明や認知症予防について話をさせていただきます。認知症の予防・早期発見だけでなく、日頃の生活習慣を見直す機会として、健康づくりにもお役立てください。また、地域の集会所やイベント会場などで出張開催することもできますので、ぜひご活用ください。

## ●認知症介護家族の交流会

日々介護の中で「がんばっていること」「困っていること」「聞いてみたいこと」などを同じ立場の人たちと分かち合い、介護のヒントを見つけてもらうことを目的として、認知症の人を介護している家族のための交流会を奇数月に開催しています。交流会では、認知症の人も交えて認知症に関するミニ講義を実施したり、お茶を飲みながら交流を深めたりしています。今月の日程など詳しくは、25ページをご覧ください。

高齢介護課(内線189)

「パフォーマーになりたくて」などさまざまな、個性豊かなメンバーがそろっています。デビュー当初は、全て手探りの活動で、ダンスの練習の仕方自分たちで考えるなど苦労したとのことですが、出演したイベントで名前を呼んでもらえるようになったり、曲中に手拍子を入れてもらえるようになったりするなど、お客さんからの嬉しい反応も返ってくるようになってきたとのこと。

現メンバーはオーディションで選ばれた、中学・高校生の精鋭ぞろい。応募した動機も「人前に立つのが好きだから」



「お笑いの要素も取り入れた」「メンバーの強い個性を売りしていきたい」「単独ライブをめざしたい」など、今までの河内天誅組にはない、新たな活動への意気込みを次々と語ってくれました。

プロデューサーも「富田林市に人を呼び寄せられる、そんな影響力のあるグループとした」とメンバーに強い期待を寄せています。河内天誅組の次のステージが見られるのは、8月18日(土)にレインボーホール(市民会館)で開催される「Ton夏フェス」(予定)です。皆さんのパフォーマンスを楽しみにしています。めざせ単独ライブ!

わがまちこのひと  
「ご当地アイドル、見参！」

「ご当地アイドルユニット  
「河内天誅組」

今回は、南河内のご当地アイドルとして颯爽とデビューを飾り、華麗な歌とダンスで着実に地域での露出を増やしている、ご当地アイドルユニット「河内天誅組」をご紹介します。河内天誅組は、富田林商工会青年部プロデュースのもと、南河内の魅力を全国に広めようと、平成28年11月にデビューしたご当地アイドルユニットで、南河内地域に縁の深い幕末志士らにちなみ、名付けられました。

現在ではオリジナル曲を引っ掛けて、Topic(きらめき創造館)のオーブニングセレモニーに駆け付けてくれたり、商工祭など地域のイベントや福祉施設でパフォーマンスを披露したりするなど、得意の歌とダンスで地域を盛り上げています。メンバーに今後の目標について何うと、「歌やダンスだけではなく、地元の名産品の紹介や、食レポに挑戦したい」「お笑いの要素も取り入れた」「メンバーの強い個性を売りしていきたい」「単独ライブをめざしたい」など、今までの河内天誅組にはない、新たな活動への意気込みを次々と語ってくれました。